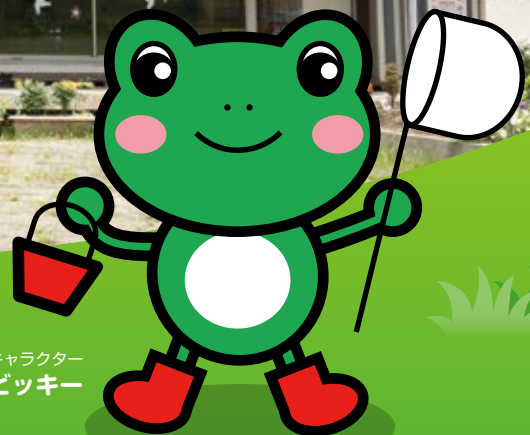


みんなの思い出がいっぱい

ありがとう 大竹児童館



大竹児童館キャラクター
ビッキー

Contents

ごあいさつ・大竹児童館の四季	P.2～3
開館時	P.4
昭和	P.5
平成	P.6～7
令和	P.8
大竹児童館三大まつり	
トワイライトキャンプ	P.9
秋まつり	P.10
もちつき会	P.11
大竹児童館建物探訪	P.12～13
児童館にゆかりのある皆様と職員からのメッセージ	
子どもたちによるイラスト	P.14～15



大竹児童館最後の
児童クラブメンバーと
令和2年度の職員

大竹児童館の四季

はる



なつ



あき



ふゆ





大竹児童館 館長
佐藤 昭彦

大竹児童館閉館によせて

ここ大竹児童館は、昭和52年4月に児童の健全育成及び子育て家庭の活動拠点として設置されました。

大竹児童館では、豊かな自然環境を生かし、四季折々の自然を通して、子どもたちの健やかな成長を図る遊びや行事を展開してきました。また、子育て中の親子がのびのびと遊べる場として、親子間の交流や子育て相談ができる場としてその役割を果たしてきました。さらに、子どもたちが、地域の人々に見守られ安全に安心して過ごせる居場所として、地域の皆様と共に子どもの健全育成の環境づくりも担ってきました。中でも、地域の特性を生かした行事として実施された「トワイライトキャンプ」・「大竹秋まつり」・「もちつき大会」は大竹児童館3大行事として愛され、子どもたちの心に生涯残る忘れることのできない活動だったのではないのでしょうか。

そのような地域の拠点として長年愛されてきた大竹児童館ですが、令和3年9月末をもって閉館することとなりました。これまで、様々な場面でご支援ご協力いただきました地域ボランティア及び子育て支援クラブをはじめとする地域の皆様、児童館に関わっていただきました関係諸機関の皆様、いつも温かく見守っていただきました保護者の皆様、これまで大竹児童館をご利用いただきました全ての皆様に心より感謝申し上げます。今まで本当にありがとうございました。

そして最後に心を込めて、ありがとう！大竹児童館！さようなら！大竹児童館！



大竹児童館
子育て支援クラブ 会長
門田 浩美

大竹児童館閉館にあたって

大竹児童館との出会いは、上の娘（現在30才）が幼稚園に入る前で、よく遊びに連れて行っていました。その時に子育て支援クラブ（以前は母親クラブという名前）に入り、一旦は子どもが小学校を卒業した時に辞めたのですが、2人目の娘を11年後に出産し、また児童館に遊びに連れて行くようになり、下の娘が4才くらいの時に支援クラブに入りました。ちょうど前の会長さんが辞めるタイミングだったので、皆さんから会長をやってほしいと言われ渋々引き受けました。その頃は、他の地域からも幼児親子さんが沢山遊びに来ていてとてもにぎわっており、私も幼児クラブに入っていました。

子育て支援クラブの活動は主に児童館のお手伝いですが、単独でも料理教室、ヨガやフラワーアレンジメントなど色々やらせて頂きました。昨年は、コロナの影響で何も出来ない状態でしたが、今年はだいぶ少なくなってきたので小学生向けの「ビンゴ大会」をやり、7月の終わり頃には、陶芸をやることができました。

大竹児童館は今年の9月末をもって閉館です。色々な思い出が沢山あり、私としてはものすごく残念です。去年からあまり活動が出来なかったことも悔やまれますが、仕方のない事なのですネ。

楽しい思い出、大変な事もありましたが、最後に「ありがとうございました。」

開館時

<昭和52年(1977)4月1日>

開館式 4.10



1泊キャンプファイヤー



指人形クラブ



伝承玩具をつくろう!



クリスマス会



昭和

<昭和52年(1977)～昭和64年(1989)>

お花見



七夕会



運動会



どろんこあそび



伝承玩具づくり



今の花だんは昔、砂場だった!?



平成

<平成元年(1989)～平成31年(2019)>

料理教室



大竹カエルレース



ダブルダッチ



梅もぎ体験





水あそびウィーク



伝統の仙台みそをつくろうよ!



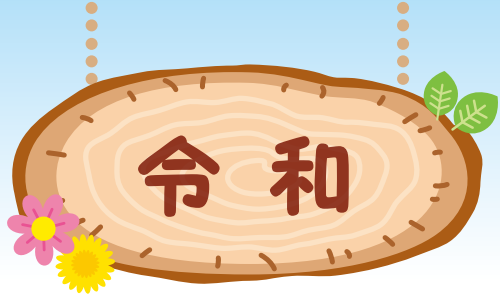
みんなでジャンボ恵方巻づくり



大掃除&白菜収穫祭



とがしのおじさんとあそぼう



<令和元年(2019)～
令和3年(2021)9月30日>



夏野菜をうえよう!

ビッキークラブ セタ



運動会



お店屋さんごっこ



大竹児童館三大まつり

トワイライトキャンプ

大竹児童館の夏といえば!

トワイライトキャンプ★

夕暮れ時のキャンプファイヤーは
高学年の姿が凛々しかったな～。

みんなで食べたカレーおいしかったね!



秋まつり

秋になったら、秋まつり🍁

ゲームや工作、仮装など、いっぱい遊んだね！
子育て支援クラブさんのじゃがいもおやつも
おいしかったね！



大竹児童館三大まつり

もちつき会

年が明けたら・・・もちつき会!!

もちつきをした後は、
あんこやみたらし味のおもち!
そして、大竹伝統の味「おつけもの」!
おいしくってたくさんおかわりしたね～。



大竹児童館建物探訪

あんな部屋やこんな部屋、知らない場所もあったかな？
大竹児童館のいろんな場所を見てみてね！

裏庭

調理室

印刷室

図書室

遊戯室

玄関

集会室

和室

事務室

ホール

花壇

児童遊園





児童館にゆかりのある皆様と 職員からのメッセージ

大竹児童館の思い出

児童館のいくつかの行事にお手伝いという形で参加しました。その中でトワイライトキャンプの「火の神」の役を毎年やらせていただきました。「火の神」が「火の子」に分火する時おこな言葉述べるのですが、毎年やっているはずなのに同じところで必ずつまづいてしまうのです。次こそはと思うのですが毎回だめでした。

地域ボランティア 庄子 晃

子どもたちの居場所だった大竹児童館

《子どもが主人公。地域でできる体験を》を目的に昭和56年に始まった1泊2日の大竹山学校。当時の「子ども会だより」にはテントも手作り、献立も買い出しも子どもたち中心、「ふいさとのみどり」という校歌もあって、優しい子どもたちが育った背景が見えてきます。児童館があってこそできた地域総ぐるみの手作り行事でした。

いつの時代も《子どもは地域の宝》です。宝の子どもたちを温かく見守ってくださった児童館職員のみなさんに心から感謝します。

地域ボランティア 富樫 昌良



門田 望

大竹児童館は、愛され児童館。来てくれた方はみんな、『楽しかった』をもらって帰ります。みんなの楽しいと地域の方々の愛がたくさん詰まっています。子どもたちと一緒に、たくさん四季の自然を楽しみ、生き物を観察して、野菜ができるのを待ちました。私自身もたくさんの「楽しかった」を貰いました。毎日子どもたちがキラキラ輝いて眩しい大竹児童館でした。

職員 雨貝 あづさ

トワイライトの「大地の恵み、両親の愛情、地域の人々の温かい眼差し、友情に感謝」を実感した7年間でした。虫や蛙、ザリガニ捕り、畑作業など大竹の自然と共に育つ逞しい子どもたち。婆ちゃんの餡子餅。漬物の作り方。新ジャガの美味しさ。全て地域の方と子どもたちから学びました。地域の皆様が子どもたちを大事に育て、大竹児童館を大切に思ってくれたこと、感謝で一杯です。最後に、町内会の腹踊りとスコップ三味線をもう一度見せて貰いたいです。

元職員 森田 広美

美味しくな一れ

私が向田に住んだのが44年前、娘息子が大竹児童館にお世話になった頃は、旧宮城町の時代、団塊世代の子どもたちが大勢いて、小学校も1クラス40人以上3クラス。向田から30数人の子が通っていました。児童館の企画も運動会や子どもたちのお泊りなど、楽しく利用させて頂きましたが、平成元年仙台市の政令都市化で吸収合併、状況も変わってお泊りはできなくなりました。

向田町内会の会長になる前、仙台味噌の会社に勤めており、明成高校調理科の先生方や生徒さんと一緒に地域の食育活動「仙台みそづくり教室」に携わっていたことから、児童館で「仙台みそづくり」が始まり、みそ先生として参加させて頂きました。子どもたちが楽しんで蒸大豆をつぶし、米麹と塩に混ぜ合わせてタタに仕込む。みんなで「美味しくな一れ!」の掛け声で六月に仕込み、夏を越し、さらに年を越して出来上がる美味みそです。たくさん楽しませて頂きました。

しかしながら、食生活の洋風多国籍化・減塩化、核家族化、少子化で人口も減り、一家庭一ヶ月のみそ消費量は750g程度、年々減少しているのが現実です。

昨年来のコロナ禍でみそづくりもできなくなり、大竹児童館が廃止になるのは、残念ですが、館長、先生方、地域のみなさんには、大変お世話になり、楽しい思い出となりました。ありがとうございました。

地域ボランティア 四電 亮澄

夕日のきれいな大竹

見返り美人ならぬ館庭の狐、裏の道はカモシカの散歩道、児童館を襲うタランチュラ擬き、児童館を守る蛇とカエルと蜂、それにもまして一番強いのは、我が家にでも帰ったかのような(いや我が家では有り得ない)、縦横無尽な振る舞い、最強です!!大竹っ子!!、ご近所の方々、町内会、消防団、地域の方々本当にありがとうございました。夕方西の空を眺め今日も楽しかったと思っている間に6年が過ぎました。

元館長 丹野 道秋

大竹児童館の思い出

四季折々、地域の方々に支えられ、多彩な行事が繰り広げられる地域立児童館。春は畑作り。人生で初めて耕運機を動かしました。夏はキャンプファイヤー、秋は館祭り、冬は餅つき会と多彩な行事を陰、いや表でもしっかりと支え続けた子育て支援クラブや地域の皆様との係わりが、私にとって掛替えのない思い出です。有難うございました。

元館長 吉田 賢治

こんな懐かしい雰囲気のあるなんて…。私の大竹児童館の第一印象です。自然が豊かで、四季折々の風景を眺めながら子どもたちや地域の方々とお過ごした時間は、楽しく貴重な経験になりました。これからも、大竹っ子たちの元気に成長を願っています。

職員 狩野 祐子

児童クラブのみんなでアイデアを出し合ったおぼけやしき、映画上映、おわかれ会、どれも大成功だったね。

遊ぶ人のことや自分達の仕事、準備や片付けまで話し合いながら子どもたちだけで考える姿に成長を感じました。みんなと過ごせて楽しかったよ。大竹児童館での思い出、忘れないでね。ありがとう。

元職員 坂元 裕子

田畑と程よい自然の中にある大竹児童館は、子どもたちの遊びと成長を大らかな気持ちで見守ることができる特別な児童館でした。また、地域の方からは畑作りや暮らしの知恵など教えていただき、今では私の楽しみとなっています。大竹ならではの経験と支えて下さった皆さんの温かさが、児童館に集まった私達の糧となり育まれて行くことを願っています。

元職員 菅井 久美子

ただいま!暑い日も寒い日も雨の日も元気で帰ってくる子どもたち。今日は何する?と話し合い遊びが始まる。先生たちも入り盛り上がり時には汗ビショビショになりながら熱中して遊ぶ。本を読んだりぬり絵、ゲーム、作品作り勉強と集中する子どもたち。あたり前に安心して過ごせる生活空間。そんな大竹児童館に関わった事に感謝しています。

職員 小山 美恵子

隣の田んぼからは児童館のキャラクターになっているカエルの声が聞こえ、館庭では多くの野鳥が餌を啄み、時にはキジやヘビも現れます。自然豊かな大竹児童館。今まで利用してくださった皆さんには、友達と遊んだこと楽しい行事に参加したことなど、たくさんの思い出とともに大竹児童館のことをいつまでも忘れないでほしいと思います。

職員 小山 猛

大竹児童館へ異動が決まった時「カエルのレースがあるよ!」と教えられ、蛙が大の苦手な私はビクビクしながら向かいました。そこに広がっていた風景はまさに「昭和の児童館」でした。3年間地域の方々に見守られながら子どもたちと自然の中で過ごした日々は、私にとって宝物のような毎日でした。本当に色々な経験をさせていただきしました。ありがとう!大竹児童館。

元職員 平澤 由美

異動したての私の手を引き、あちこち(秘密の場所も!)案内してくれたのは、幼い頃からここに慣れ親しんで育った小さな先輩たちでした。かくれんぼも楽しかったな。初夏に仕込んだ味噌樽の隙間に息を潜めて震えるスカートが見えて、よくそんな所見つけたね、って。毎日お迎えの車が見えなくなるまで手を振りさよならしました。思い出深いたくさんの行事と共に、そんな日々の些細なことが陽だまりのように今も心に残っています。

元職員 藤倉 恵



早坂このは



石川 悠希

大竹児童館での半年間は、子どもたちのいない寂しさはありましたが、自然に恵まれ、時々やってくる自由来館の動物たちとの触れ合い?もあり、ほのぼのと穏やかな日々を過ごすことができました。短い間でしたがとても貴重で楽しい経験でした。ありがとう大竹児童館。お疲れ様でした!!

職員 加藤 智佳

行動力、団結力があり、優しさあふれる地域の皆さん。個性豊かで元気いっぱいの子供たち。たくさんの素敵な出会いの中、地域の皆さんと作り上げていった行事や毎日のすべてが、私にとってかけがえない思い出です。大竹児童館に関わるすべてに感謝いたします。

元職員 安藤 香織

自然に恵まれたなかで笑顔で遊ぶ子どもたちの元気な姿を目にして、子育て支援クラブや地域の皆様の深い理解と愛情をいつも感じておりました。この元氣さと理解と愛情に守られて二度にわたって勤務させていただけたことは、私にとって一つの宝物です。みなさん、どうぞお元気で過ごしてください。

元職員 谷口 暢子

桜の木に登る子どもたち。児童館で飼って!と捕まえてくるアカハライモリやバケツいっぱいのカエル。トワイライトでみんなと見たナイアガラ。こっそり藤棚の上で見つけた男子たち。大竹の子どもたちのキラキラの笑顔と優しさ。楽しい思い出がいっぱい!地域の皆様に支えていただきながらのかけがえない日々を忘れません。

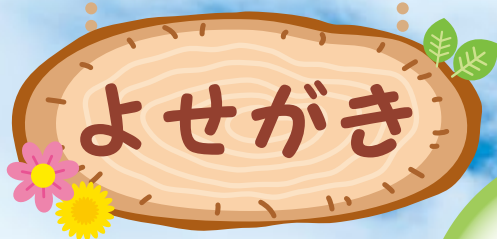
元職員 佐藤 美智恵

7年間勤務した大好きな児童館。トワイライトキャンプやもちつき会、ダブルダッチ等、忘れられない思い出ばかりですが、一番印象に残っているのは子どもたちの優しさです。温かい愛情と自然に溢れた地域が、子どもたちの豊かな心を育てているのだと実感する日々でした。貴重な経験と素敵な思い出をありがとうございました。

元職員 中村 順子(旧姓 鈴木)

5年間過ごした大竹児童館での一番の思い出は、たくさんの笑顔溢れるこの場所で過ごせたことです。いつも地域の皆さんが児童館のことを考えてくれて、子どもたちが楽しく過ごす時間を共に創り上げてくれました。今でも思い浮かぶのは、子どもたちや地域の皆さんの笑顔ばかりです。本当に大切な時間をありがとうございました。

元職員 堀田井 裕子



みんなの思い出がいっぱい
**ありがとう
大竹児童館**

仙台市大竹児童館

指定管理者 (公財) 仙台ひと・まち交流財団
〒980-0804 仙台市青葉区大町 2-12-1
TEL 022-268-5084 (子ども育成課)
<https://www.hm-sendai.jp/>

発行日/令和3年9月



このパンフレットは環境に配慮した
「水なし印刷」により印刷しております。



環境にやさしい植物油インク
「VEGETABLE OIL INK」で
印刷しております。